

『豊川市認知症サポーター養成講座補助教材
(創作絵本)』

さ
さくらの咲くころ



はじめに

この絵本の主人公の「まなみちゃん」（認知症のことをみんなでいっしょに学ぶという意味で「まなみちゃん」という名前にしました。）は豊川市に住んでおり、お話の中でも『いなりん(小学校)』や『桜トンネル』など、みなさんにとってもふだんから親しみのある風景や名前が出てくることで、少しむずかしい「^{にんちしょう}認知症」についてのお話を身近に感じてもらえるように工夫しています。

「^{にんちしょう}認知症」を理解するためには、正しい知識が必要です。この絵本の主人公の「まなみちゃん」が【^{にんちしょう}認知症サポーター^{ようせいこうざ}養成講座】をとおして、おじいちゃんのことを理解していったように、みなさんもこの絵本を読んで「^{にんちしょう}認知症」について理解を深めてくれるとうれしいです。

またこの絵本は、一宮中学校の有志12名の生徒さんたちがとてもステキな挿絵を描いてくれたことにより完成した「^{きょうどう}共同作品」です。ご協力いただいた生徒さんおよび一宮中学校の先生方、ありがとうございました。

令和4年3月

さくらの咲くころ



～登場人物紹介～



主人公：

まなみちゃん。小学5年生。

わがママを言うおじいちゃんが大きらい。



お母さん：

元気で明るい。お父さんと2人でおじいちゃんのお世話をしている。

～登場人物紹介～

お父さん：

まなみちゃんをいつもやさしく見守って
くれている。



おじいちゃん：

仕事が好きだったが、1～2年前から
「もの忘れ」が出てきたので仕事を辞めた。



まなみちゃんが学校から帰ってきました。

「お母さん、ただいま。」

（あれ、今日もお母さんからの返事がない。
きっと、おじいちゃんの部屋だ。）

まなみちゃんはおじいちゃんの部屋に
行ってみました。



おじいちゃんは

「今から仕事に行くから服の用意を
しておくれん。」

とお母さんに頼んでいます。

（仕事、とつくに辞めたくせに、

また、わがママを言って、

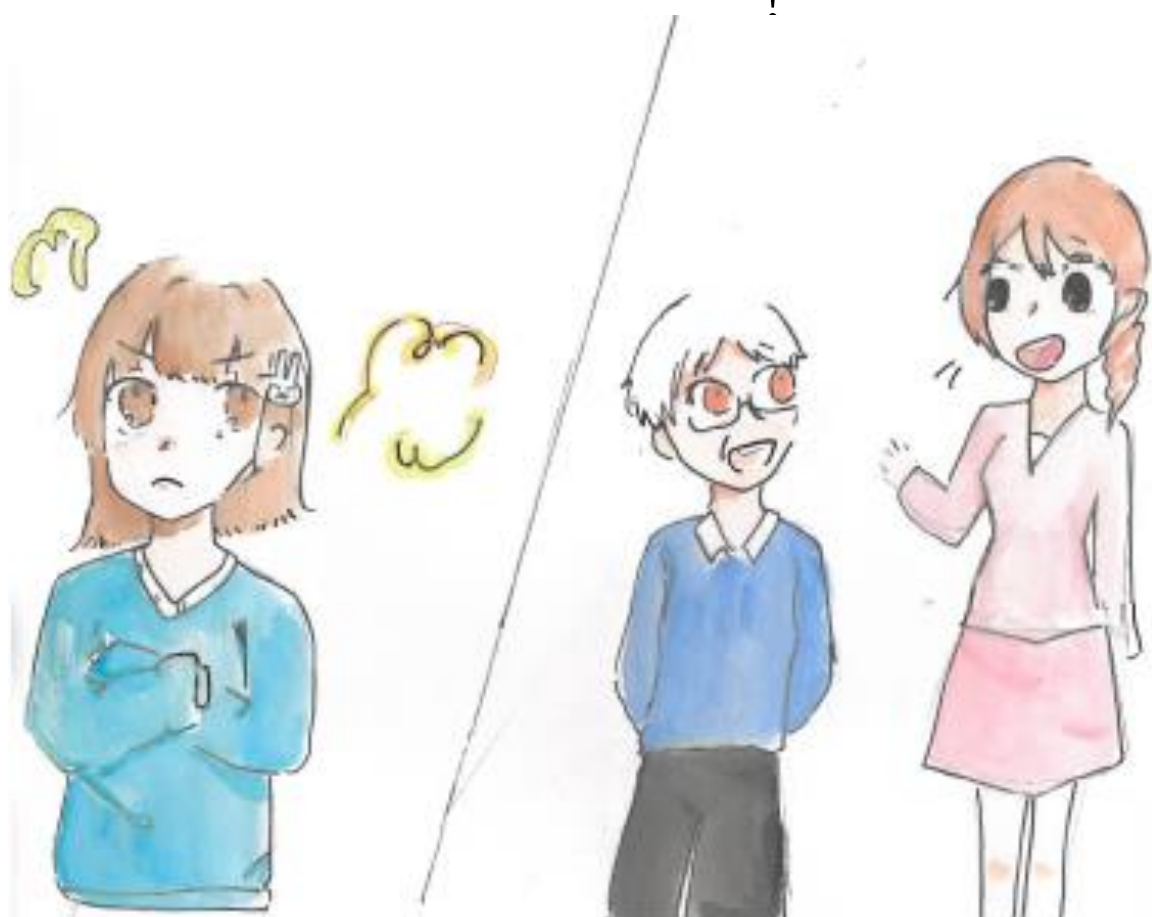
今日もお母さんを困らせている）

と、まなみちゃんは思いました。

まなみちゃんは思わず、
おじいちゃんに向かって

「いつもお母さんをこまらせる、
おじいちゃんなんか大っきらい！
と言ってしまった。

それを聞いた
おじいちゃんは
どことなくさみしそうな
顔をしていました。



その日の夜のことです。

夕食後、お母さんが言いました。

「あれ、まなみ、自分の分だけ持ってきたの？

いつもはおじいちゃんの食器も持ってきてくれるのに。

おじいちゃんの食器も台所に持ってきてくれる？」

毎日、夕食後に、おじいちゃんの食器と

自分の食器を台所に持っていくのが、

まなみちゃんの役わりです。

でも今日は、毎日毎日、お母さんを
こまらせているおじいちゃんに
意地悪をしました。

「ふん、おじいちゃんも
たまには自分で台所
にもっていけば？」

とおじいちゃんに
向かってきつい一言を
言ってしまった。



「まなみ！おじいちゃんに謝りなさい！」

まなみちゃんはお母さんにおこられてビックリしました。
まなみちゃんは心の中で

（どうして？

わがままばかりのおじいちゃんが
おこられなくて
どうして私がおこられなきや
いけないの？）

まなみちゃんは、くやしくて泣いてしまいました。

横で見えていたお父さんが、
そっとまなみちゃんの
頭をなでました。

その日、

まなみちゃんは
くやしくて悲しくて、
ねるまでなみだが
止まりませんでした。



それから数日後、

まなみちゃんの通う

【いなりん小学校】に

にんちしやうちいきしえんすいしんいん

“認知症地域支援推進員”という人が

にんちしやう

ようせいこうぎ

「認知症サポーター養成講座」の

お話をしにやってきました。

学校の先生以外の人が教えに来るのは初めてなので、

まなみちゃんは、どんな話が聞けるのかとても

興味があります。

始まった

にんちしょう

ようせいこうぎ

「認知症サポーター養成講座」では、

脳のしくみについて学び、

少し前のことを忘れて

何度も同じことを聞いたり、

これまで出来ていたことが

出来なくなる

にんちしょう

「認知症」

のう

という脳の病気があることを
知りました。



まなみちゃんは

「この脳のうの病気、

まなみのおじいちゃんとそっくり」と、
とてもおどろきました。

（おじいちゃんは、お母さんに
わがママを言ってこまらせていたんじゃないんだ。

脳のうの病気だったんだ。

お父さんとお母さんは、

このこと知っているのかな？

おじいちゃんに悪いことしたな。）

「お母さんに何から話そう?」

家に着くまで、

まなみちゃんの

頭はフル回転です。



まなみちゃんは、

にんちしょう

ようせいこうぎ

今日の「認知症サポーター養成講座」で学んだ

【相手が嫌だと思うことを

本人の前で言わないように】

おじいちゃんに気配りしながら、

そつとお母さんにおじいちゃんの

病氣のことを聞いてみました。

おじいちゃんは1〜2年前から「もの忘れ」があり、

理解できないことが増えるようになったことを知り、

おじいちゃんにきつい言い方をしていたと反省しました

お母さんは言いました。

「おじいちゃんは

まなみのことが

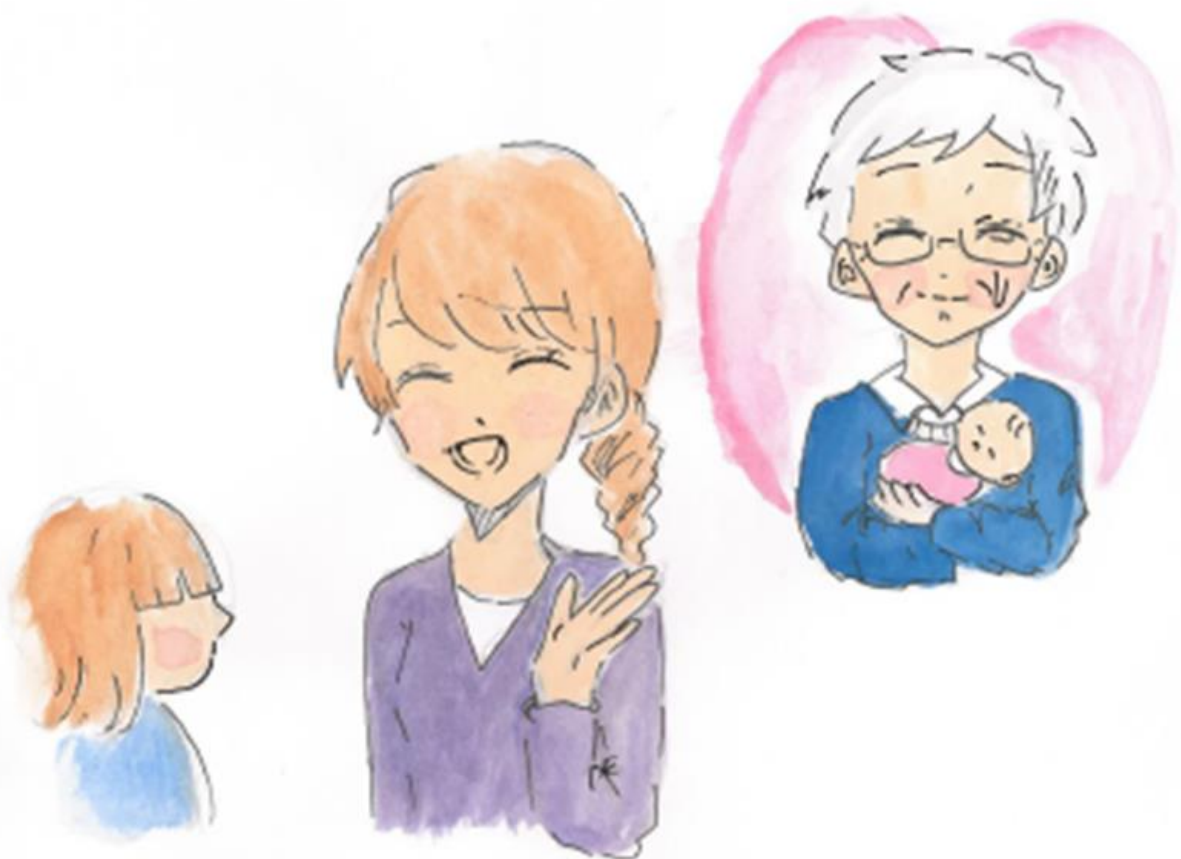
大好きだから、

まなみとお話する

きっかけができるように

お母さんが食器の片づけを

お願いしていたのよ。」



まなみちゃんは、お母さんの話を聞いて、
自分がおじいちゃんに大切にされていることが
分かりました。

そして、

まなみちゃんは、どうしたらもつと

おじいちゃんが喜んでくれるのか考えました。

（そうだ！

もうすぐおじいちゃんが大好きな桜が咲くさく）

まなみちゃんは、おじいちゃんに言いました。

「おじいちゃん、さくらの咲くころ、
家族で【桜トンネル】に
お花見に行こうね。」

おじいちゃんは

突然とつぜんのまなみちゃんの

提案にキョトンと

していましたが、

お父さんとお母さんは

とてもうれしそうでした。

おしまい



今回、絵本のイラストを描かせていただき、とても良い経験になりました。イラストを描く大変さも学びました。ありがとうございました。(H・M)

イラストを考えるのが難しく時間もかかりましたが、時間をかけた分、良い作品ができました。(S・M)

水彩を使うのが好きだったので、挿絵を楽しく塗ることができました。自分の絵を挿絵として採用していただき、ありがとうございました。(K・A)

絵本の挿絵を描くという貴重な体験ができてうれしかったです。(H・Mi)

セリフに合うようなキャラクターを描くことが難しかったけれど、楽しくできて良かったです。(U・Y)

認知症について、自分の趣味を通して少しでも知ることができて、とても良かったです。ありがとうございました。(K・K)

絵本のイラストを描いたことや、自分ではない人がデザインしたキャラクターを描いたことなど、貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。(K・M)

とても楽しかったです。良い経験になりました。(W・H)

めったに体験できないことだし、自分の好きなことが役に立ってうれしかったです。(I・S)

最初は認知症がどのような症状か分からなかったけれど、施設の人の話を聞いて知ることができて良かったです。多くの人には知られていないと思うので、この絵本を通して、様々な人に知ってもらうお手伝いができて良かったです。(M・N)

市内の小中学生向けに描くことだったので、丸みのある絵を描くように意識しました。この絵を通して、いろいろな人に認知症のことが伝わってくれるとうれしいです。ありがとうございました。(T・Y)

女の子が認知症に対して理解を深めていくことに、私も認知症だけでなく、様々な障害に理解を深められるようにしたいと思いました。
(O・H)



挿絵協力：豊川市立一宮中学校 令和3年度生徒 有志

協力してくれた皆さん、ありがとうございました。手作りの挿絵がとても素敵で、温かい一冊になったと思います。たくさんの方々に読んでいただきたいと思います。そして、この絵本を手にとった方が「認知症」を知る手助けになればと思います。(S・H)

中学生の皆さんとともにとても素敵な絵本を作ることができました。

この絵本が、認知症があってもなくても「自分らしく、そして皆がともに」生きていくことのできる世の中になる一助となればと思います。(M・R)

様々な方々にご協力をいただき、素敵な絵本になりました。絵本を通じて「認知症」について身近なことであると感じてもらえたらと思います。(T・I)



市職員、認知症地域支援推進員からのコメント

素敵な挿絵が入り、あたたかみのある絵本ができました。この絵本が、多くの人に認知症を知っていただくきっかけになれば嬉しいです。

(K・M)

ご協力いただいた皆さんのおかげで、とても素敵な絵本が完成しました。この絵本は、表紙、裏表紙も含めて挿絵の作者が1枚ごとに違うので、ページをめくる楽しさや発見があります。この絵本をとおして、これまで以上に「認知症理解」を広める活動を進めていこうと思います。(H・Y)

学生さんの「あたたかい挿し絵」というエッセンスが加わることにより、非常に素晴らしい絵本が完成しました。この絵本を活用してより多くの方に認知症について正しい理解を持ってもらえるよう啓発していきたいと思います。ありがとうございました。(Y・K)



発行：豊川市福祉部介護高齢課

発行年月日：令和4年3月

協力：豊川市教育委員会

豊川市社会福祉協議会